障害福祉に特化し求人事業

介護事業者がサイト運営開始

児発管・リハ職など対象

高齢者デイサービスなどの介護事業、放課後等デイサービスなどの障害福祉サービス事業及びそれらのフランチャイズ事業を展開する有信アクロス（大阪府吹田市）は11月8日、児童発達支援・放課後等デイサービスの仕事に特化した人材紹介・求人検索サービス「放課後デイJOBウィズ・ユー」の運営を開始した。

原田健市社長

有信アクロス

初期費用は無料
採用1件10万円

求人などの対象とするのは児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士、臨床心理士および視覚障害生活訓練専門職員の9つの専門職。

求人広告の掲載費用・初期費用などは無料。実際の採用に至った場合のみ、税込11万円の費用が発生する成功報酬方式を採用。

また、前述した対象資格者以外の採用に至った場合は、資格の有無や保有資格の種類に関係なく、半額の税込5万5000円。人材紹介サービスの場合は年収の25%が費用として発生する。

▶サイトの求人ページ

厚生労働省の調査では、2014年から19年の5年間で障害児向けのサービスを利用する子どもの数は2・3倍に増加しているという。それに伴い各種サービス施設数も増加しているが、同時に人材獲得競争も激化している。

「スタッフ不足で開所できない事業所や、退職者の補充もままならない事業所も少なくない中で、これまでFC本部として培ってきた経験を活かし、業界最安値で人材を確保できるスキームの構築を目指しました。当社のFC加盟店であるかどうかに関わらず広く利用してもらいたいと思います」と同社ではコメントする。

放課後デイFC加盟数全国1位

同社は1995年の設立。もともとはインターネットカフェ「コミック・バスター」のFC本部だったが、その後に民家改修型のお泊りデイ「樹楽（きらく）」のFC事業を開始、介護事業に参入した。現在、直営のグループホームなども含めて全国で120施設を展開している。

さらに2015年より、児童発達支援・放課後等デイの「ウィズ・ユー」のFC事業をスタート。直営の店舗を含め、24年10月時点で全国415施設を展開している（※開設準備中のもの含む）。放課後等デイのFCとしては全国トップの加盟店数を誇る。

介護Biz

「感染症対策のためマスク着用義務とはなっている。